

当院においてコロナ感染症治療を受けられた方及びご家族の方へ

— 「SARS-CoV-2 を用いた遺伝子解析及び電子顕微鏡による画像解明」 へご協力をお願い —

研究機関名 岡山大学病院

研究機関長 病院長

研究責任者 岡山大学中性子医療研究センター 准教授 道上宏之

1) 研究の背景および目的

新型コロナウイルス感染症の原因である SARS-CoV-2 (以下コロナウイルス) は、どこで病気になったのか、いつなったのか、どんな人がなったのか、によりコロナウイルスに色々な種類 (遺伝子の変異) が報告されている。現在は、コロナウイルスを調べるためにウイルスの遺伝子 (ウイルスの体を作る設計図となる情報) を中心とした研究が盛んであるが、今回我々は顕微鏡の一種である電子顕微鏡を用いてウイルスの細かい体の仕組みを観察し、コロナウイルスの謎を解き明かす研究を行う。

2) 研究対象者

2020年1月1日～2026年3月31日の間に岡山大学病においてコロナウイルスを感染症の治療を受けられた方最大30名を研究対象とします。

3) 研究期間

倫理委員会承認後～2026年3月31日

4) 研究方法

当院においてコロナウイルス陽性と判定された方で、研究者が診療情報をもとに唾液・喀痰を選択し、顕微鏡による観察、遺伝子解析、入院時の血液、画像のデータを選び、研究する。

5) 使用する試料

この研究に使用する試料として、すでに保存されている喀痰や唾液を使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報が漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

6) 使用する情報

この研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- ・ 患者様の情報 年齢、診断名 病状経過、画像診断結果
- ・ 血液検査、患者検体情報、SARS-CoV-2 への PCR 結果
- ・ SARS-CoV-2 の網羅的シーケンスを含む遺伝子解析

7) 試料・情報の保存、二次利用

この研究に使用した電子顕微鏡画像や遺伝子情報は、岡山大学内で半永久保管保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の試料・情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した試料・情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

9) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。また、あなたの試料・情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方（ご家族の方等も拒否を申し出ることが出来る場合があります。詳細については下記の連絡先にお問い合わせください。）にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。ただし、すでにデータが解析され、個人を特定できない場合は情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

岡山大学中性子医療研究センター

氏名：道上 宏之

電話：086-235-7785（平日：9時00分～15時00分）